

議会だより

かみやま

第 29 号

2016. 5. 13

3月定例会



消費者庁 板東久美子長官が神山町を訪問

3月14日

結婚祝い金制度の創設	3頁
城西高校神山分校通学費補助	3頁
神山東中学校閉校式	16頁

3月定例会は、平成28年3月7日から18日まで12日間の会期で開催した。前年度より2.1%減となった平成28年度一般会計予算を中心に平成27年度補正予算のほか条例の制定、条例の一部改正など19議案と発議案2議案を審議し、全議案可決した。

一般質問では6議員が登壇し（9～14ページに掲載）それぞれ町の考えを質問した。

日	平成28年3月定例会議案事項	掲載頁
第1日	諸報告 町長から所信表明	3頁
第2日	一般会計補正予算（第5号）について 【上程・審議・可決】 特別会計補正予算について 【上程・審議・可決】 （国民健康保険・簡易水道事業・介護保険・後期高齢者医療） 【上程】 平成28年度一般会計予算について 【上程】	7～8頁
	条例の一部改正について 1件 【上程・審議・可決】	
第3日	平成28年度一般会計予算について 【上程・審議保留】 平成28年度特別会計予算について 【上程・審議保留】 条例の制定について 1件 【上程・審議保留】 条例の一部改正について 5件 【上程・審議保留】 過疎地域自立促進計画について 【上程・審議保留】	4～6頁
第4日	一般質問 西崎哲夫議員 中西富士男議員 細井成富副議長 高橋和男議員 森本吉治議員 相原浩志議員	9～14頁
第8日	平成28年度一般会計予算について 【審議・可決】 平成28年度特別会計予算について 【審議・可決】	4～6頁
第12日	条例の制定について1件、条例の一部改正について5件 【審議・可決】 過疎地域自立促進計画について 【審議・可決】 平成27年度神山町一般会計補正予算（第6号）について 【上程・審議・可決】	
	議会発議案 森林・林業政策の推進を求める意見書について 【上程・可決】 石井警察署の存続を求める意見書について 【上程・可決】	
	その他（議員派遣・委員会の閉会中の継続調査） 【上程・可決】	

※第5日・第6日・第7日・第9日・第10日・第11日は休会とした。

所信表明

●本年度は40億9600万円の当初予算で前年に比べ8600万円の減額。ここ数年続いてきた公共施設関連の工事については、ほぼ目処がついてきたが、今年度より地方創生関連事業が新たに始まるなど引続き40億円を越す予算編成となる。

●国民健康保険、簡易水道事業、介護保険、後期高齢者医療の特別会計は合計で23億9678万円で前年に比べ3352万円の増額に。

●簡易水道事業については中央簡易水道の配水管布設替工事、平成29年度から簡易水道統合に向けての整備、広野簡易水道での新たな水源の調査業務のほか、施設の老朽化が目立ち、今後継続的な改修工事など多額の費用がかかると考えている。

●平成28年度の職員数は行政職89名、現業職15名の104名で昨年度より2名減少となっている。豊富な経験と知識をもった職員の再任用に1名を予定している。

●ふるさと納税に84名から183万円のご寄附をいただいているが、今後も多くの方からご寄附をいただけるよう努力したい。



リニューアルされた神山温泉浴場

新年度の主な事業

■若者定住関連

神山つなぐ公社の事業として旧青雲寮跡地での展開をしていきたい。

■エレベーター設置

27年度に下分公民館にエレベーター設置、28年度は阿川公民館に設置を予定。29年度には支所及び公民館のエレベーター設置をすべし完了させたい。

■神山温泉周辺整備

神山温泉の改装工事が終了。四国の温泉や旅館では初めて浴場に畳を敷く。高齢者や小児の転倒防止や和の雰囲気の演出を醸し出している。またR438号から温泉への進入路（町道北上角線）については地権者の協力をいただき用地確保が完了しているので改修を行いたい。また旧老人ホーム跡地の温泉駐車場の整備、周辺の進入路の改修を実施予定。

■結婚支援事業を創設

町内の独身者への結婚のお世話をしていたとき、未婚者の減少、晩婚化の解消につながる事業を始めたのでお世話人を募ってみたい。

■結婚祝い金制度の創設

神山町で結婚届を提出し、1年以上居住し、住民登録をしていただいた夫婦に10万円を支給。

■ピロリ菌の抗体検査

中学2年生に実施。（28年度は2・3年生を対象）

■子どもはぐくみ医療費の助成拡大

現在中学生までの病氣、怪我での医療費補助をしていたが、28年度より高校卒業まで引き上げる。

■城西高校神山分校通学費補助

町外から城西高校神山分校に通学する生徒の通学にかかる経費に補助。すでに町内から町外の高校に通う生徒に対しては補助をしている。城西高校神山分校は町内唯一の高校で、ここ数年定員割れが続く学校存続への影響も大きく、地域教育を担う中で大変重要なものと捉えている。

■奨学金償還免除の特例制度

現在学校卒業後就職してから償還することになっているが、卒業後神山で定住する場合には償還を免除する。若者定住につなげたい。

■双方向遠隔ライブ授業から地域未来塾

中学2年生、3年生に現役東大生によるインターネット授業を展開してきたが、生徒に対しきめ細かな対応が不十分との意見が多くなったため、この事業を廃止し、地域未来塾に移行。地域未来塾とは放課後を利用して中学2年生、3年生を対象に講師が学校に来て授業を行うもので、塾、保護者、教育委員会が協議会を立ち上げ、個別指導に近い形で実施し学力の向上につなげたい。

小学校では、月1回程度、「放課後子ども教室」を実施する。

平成28年度当初予算

一般会計	40億9600万円（2.1%減）
国民健康保険特別会計	9億9991万円（2.7%減）
簡易水道事業特別会計	1億9466万円（15.6%増）
介護保険特別会計	10億8053万円（3.4%増）
後期高齢者医療特別会計	1億2169万円（0.2%増）
当初予算合計	64億9279万円

平成28年度予算の主な内容		
総務課	・旧寄宿舎解体工事	6500万円
	・公共施設解体工事	1280万円
	・集合住宅整備工事設計業務委託料	3000万円
	・フードハブ神山施設整備工事	9505万円
	・お試し住宅整備補助金	4500万円
	・神山つなぐ公社出資金	1000万円
	・神山温泉基金積立金	2000万円
	・元気づくり事業助成金	137万円
	・防火水槽等新設工事	450万円
	・消防備品購入費	432万円
	・名西消防組合負担金	1億6040万円
	・旧県教員住宅購入費	1240万円
住民課	・町営バス運行委託料	2190万円
	・地方バス生活路線維持費補助金	130万円
	・結婚祝金	100万円
	・参議院議員通常選挙費	736万円
	・戸籍総合システム保守委託料	231万円
	・合併処理浄化槽設置整備事業補助金	577万円
	・阿北環境整備組合負担金	1348万円
	・ゴミ処理委託料（可燃・粗大ゴミからの木ガラの処理費）	794万円
	・老朽危険空家除去支援事業補助金（3棟分）	240万円
	・放置空家除去支援事業補助金（3棟分）	120万円
・高瀬団地改修工事	6564万円	

平成28年度予算の主な内容

税務 保 険 課	・国民健康保険特別会計繰出金	1億1421万円
	・後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金	1億3281万円
	・後期高齢者医療特別会計繰出金	6004万円
	・地籍調査事業費	2973万円
	○国民健康保険特別会計	
	・一般被保険者療養給付費	4億7700万円
	・退職被保険者等療養給付費	1500万円
	・一般被保険者高額療養費	7900万円
	・出産育児一時金	168万円
	・後期高齢者支援金	8000万円
	・介護給付金	3500万円
	・高額医療費共同事業医療費拠出金	2957万円
	・保険財政共同安定化事業拠出金	2億2830万円
○後期高齢者医療特別会計		
・後期高齢者医療広域連合納付金	1億1180万円	
健 康 福 祉 課	・高齢者等タクシー利用助成事業委託料	900万円
	・高齢者見守り等支援事業委託料	255万円
	・高齢者路線バス定期券購入費助成事業補助金	103万円
	・高齢者住宅改造事業助成費	120万円
	・町内高齢者等神山温泉使用料（差額分）	554万円
	・敬老会開催負担金	401万円
	・シルバー人材センター業務委託料	300万円
	・介護保険特別会計繰出金	1億7307万円
	・重度心身障害者等医療助成費	2664万円
	・障害者自立支援介護給付費	1億3470万円
	・放課後児童クラブ運営委託料	711万円
	・子育て支援補助金	120万円
	・子どもはぐくみ医療助成費（高校生まで）	1560万円
	○介護保険特別会計	
	・居宅介護サービス給付費	2億3099万円
	・施設介護サービス給付費	4億8905万円
	・居宅介護サービス計画給付費	2825万円
	・地域密着型介護サービス給付費	6500万円
	・高額介護サービス費	2249万円
	・特定入所者介護サービス費	4374万円
・介護予防サービス給付費	5661万円	

平成 28 年度 予算 の 主な 内容		
産業 観光課	・ 中山間地域等直接支払交付金（13集落）	978万円
	・ 青年就農給付金（6名）	825万円
	・ 農作物被害対策施設整備補助金	300万円
	・ 有害鳥獣駆除報償金	1054万円
	・ すだち消費宣伝用果実代	100万円
	・ すだち冷蔵庫導入事業補助金	100万円
	・ とくしまブランド生産力強化支援事業補助金	504万円
	・ 陰切り助成事業補助金	50万円
	・ 森林境界の明確化業務委託料	4000万円
	・ 町有林搬出間伐業務委託料	1281万円
	・ 町有林広葉樹植栽業務委託料	534万円
	・ 多目的イベント広場整備工事（旧老人ホーム跡地）	5000万円
	・ 町商工会運営補助金	300万円
	・ 若者定住支援住宅新築等補助金	800万円
・ 道の駅指定管理者業務委託料	330万円	
・ 地域おこし協力隊起業費用補助金	300万円	
建設課	・ 町道維持工事	2000万円
	・ 県道改良工事等負担金	1000万円
	・ 道路改良舗装工事	3500万円
	・ 林道維持工事	200万円
	・ 社会資本整備総合交付金工事	1 億1100万円
	○簡易水道事業特別会計予算	
	・ 広野簡易水道配水管布設替工事（阿野橋架設）	2194万円
・ 中央簡易水道配水管布設替工事	3000万円	
教育委員会	・ 農村環境改善センター等指定管理者業務委託料	1422万円
	・ スクールバス委託料	1700万円
	・ 奨学資金貸付金	660万円
	・ 小学校施設改修工事	723万円
	・ 公民館エレベーター設置工事	1100万円
	・ 郷土資料館展示物運搬委託料	248万円
	・ 中学校エアコン設置工事	128万円
	・ 給食調理・配送業務委託料	1261万円
・ ピロリ菌検査手数料	14万円	
その他	・ 公債費	4 億900万円

平成27年度補正予算・条例制定・条例一部改正 契約締結等の主な内容

() は予算総額

平成27年度補正予算

一般会計（5・6号）	補正額	△1億3638万円（47億9555万円）
国民健康保険特別会計（3号）	補正額	1058万円（11億121万円）
簡易水道事業特別会計（4号）	補正額	△107万円（1億8300万円）
介護保険特別会計（4号）	補正額	△4418万円（10億2668万円）
後期高齢者医療特別会計（2号）	補正額	△211万円（1億1993万円）

予算合計 補正額 △1億7316万円（72億2637万円）
※一般会計・4特別会計の総額

補正予算・条例制定・条例改正・契約締結等の主な内容	
総務課	◎一般会計（5・6号） <ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎駐車場街路灯 55万円 ・情報セキュリティ強化業務委託料 2560万円 ・地方創生推進費 1億19万円 ○職員の給与・勤務時間・休暇などに関する条例の一部改正について ○町長等の給与に関する条例の一部改正について ○神山町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について ○神山町消防団の条例の一部改正について ○神山町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について ○神山町情報公開条例等の一部改正について ○過疎地域自立推進計画について
住民課	◎一般会計補正予算（5号） <ul style="list-style-type: none"> ・町議会議員選挙 無投票による △431万円
税務保険課	◎一般会計補正予算（5号） <ul style="list-style-type: none"> ・地籍調査費 2170万円 ◎国民健康保険特別会計補正予算（3号） <ul style="list-style-type: none"> ・保険給付費 305万円 ・諸支出金 750万円 ◎後期高齢者医療特別会計（2号） <ul style="list-style-type: none"> ○神山町国民健康保険税条例の一部改正について

補正予算・条例制定・条例改正・契約締結等の主な内容	
福祉課	◎一般会計補正予算（5号） ◎介護保険特別会計補正予算（4号）
観光課	◎一般会計補正予算（5号）
建設課	◎一般会計補正予算（5号） ・現年林道災害復旧工事 △5400万円 ・社会資本整備総合交付金工事 △2600万円 ・現年発生公共土木施設災害復旧工事 △1億円
農業委員会	◎一般会計補正予算（5号）
教育委員会	◎一般会計補正予算（5・6号） ・公民館エレベーター設置工事費追加 250万円
議会	◎議員発議案 ○森林、林業政策の推進を求める意見書 本年3月「山村振興法」が改正され、「地域の特性を活かした産業の育成による就業機会の創出」や「定住の促進」等新たな基本理念を踏まえ、山村地域の再生、地域経済の活性化を図るためには、森林・林業施策の推進は急務であり、立地条件に対応した森林整備、間伐材等の利活用、適切な治山対策、鳥獣害対策の実施等が重要となっている。 そうしたことから、森林・林業政策の推進に向け強く要請する。（賛成多数可決） ○石井警察署の存続を求める意見書 石井警察署は、名西郡の治安の要であり、すでに構築された地域住民との信頼関係のもとに管轄内の安全・安心を確保いただいている必要不可欠な機関であるため、統合は地域住民の生活に大きな影響を与えるものである。 このことから、今後も警察の使命として地域住民の生活を守っていただくとともに、警察と地域住民の良好な信頼関係を維持するため、石井警察署の存続を強く要望する。 （賛成多数可決）

平成28年 名西消防組合議会

第1回定例議会は3月3日に石井町役場議場で開催された。本定例会では議案6件を審議し、原案どおり可決した。

●議案第4号

名西消防組合職員定数条例の一部を改正する条例の制定について

●議案第5号

名西消防組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●議案第6号

名西消防組合職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●議案第7号

名西消防組合職員特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●議案第8号

平成27年度名西消防組合一般会計補正予算（第2号）について

●議案第9号

平成28年度名西消防組合一般会計当初予算について
平成28年度一般会計予算、歳入歳出それぞれ5億4235万1千円とする。

内訳

神山町負担金

1億6040万4千円

石井町負担金

3億7115万9千円

その他収入

1078万8千円

一般質問



西崎哲夫 議員

質問①

防犯灯の新規設置の希望があるが。

イ、新規設置の実状。
ロ、新規設置が難しい理由。
ハ、これからの対応について。

集落の再編や移住者の多い本町にあって、安心安全の町づくりで新規設置は必須の要件ではないか。

答弁（総務課長）

平成19年度迄は四国電力の寄附で4基前後の設置があったが以降減少し、平成25年度からは四電の対応はなくなった。設置基数、設置箇所について、四電に台帳はあるが正確な現状の確認ができず、台帳と現地が一致

① 防犯灯（街路灯）の新規設置について

② 本町の貴重な兵事資料の新たな有効活用の展開について

するのとはつきりしなかった。

そこで四電から台帳を提供してもらい調査して、現在確認が完了し、これから現地と台帳の照合を行い台帳整備を行う。現在759灯を確認している。不必要な箇所の撤去、修理を優先し、もし新規設置の希望があれば、行政が必要性を充分精査して対応していくべきと考える。新規設置については四電との協議もありこれからの検討事項と考えている。

質問②

新聞報道として、全国13社の地方新聞社による共同企画で戦後70年地方共同企画として「消えぬ傷痕シリーズ」で全国最少年積自治体である富山県船橋村に明治から終戦に至る迄の徴兵

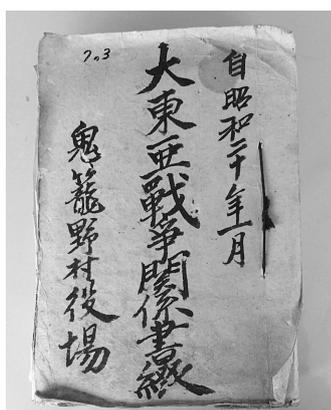
業務等を記録した幻の資料と云

われている兵事資料が現存する村として記されている。全国で船橋村と富山県砺波市と神山町の3自治体にしか現存しない貴重な兵事資料である。神山町と船橋村は合併せず、小さくても自立を選択した点で共通の自治体でもある。両自治体は兵事資料の共同研究や有効活用を含めて価値を共有し発信すべく関係者で相互の視察や積極的な交流を深めてはどうか。

答弁（教育長）

船橋村には兵事資料250冊が本町には241冊が現存している。兵事資料については歴史を証明する貴重な資料と認識しており、平成20年に神山町旧村文書目録を発刊し、希望があれ

ば資料の閲覧にに応じている。県立文書館の特別企画展終戦70周年記念「民衆が見た戦争」の展示資料として、動員日誌をはじめ3点を展示する等、有効活用を図っている。船橋村との視察交流については、兵事資料の活用を図る上でも大変意義深いと考えるが、本町には専門的な職員が配置できていないこと、兵事資料には個人情報等の問題もあり視察交流については難しいと考える。



兵事資料

一般質問



中西富士男 議員

質問①

青梅生産販売状況について

神山町の青梅生産量は、JA取扱で平成17年度、474t売上高1億1500万円、平成27年度105t売上高2100万円まで減少している。収穫についても、単価安のため収穫されていない園があり、更に耕作放棄地が増えている。人口減少だけの問題か、この10年間行政としてどのような検討をしてきたか。

販売方法は、市場流通に頼りすぎた結果でないか、一部の生産者は、単価獲得のため加工し主に梅干しとして町内、県内業者にて販売している。本年申年、行政としての28年産青梅販売方針は。

答弁（産業観光課長）

青梅生産販売状況で、耕作放棄

① 農業振興について

中心作物の梅・すだちの現況

棄の増加については、人口減少のほか農業者の高齢化、兼業農家の減少、担い手の不足等様々な要因があると考えている。

耕作放棄地の防止には貸し借りをすることが重要であると思われ、神山町では農業経営基盤強化促進法に基づく利用権の設定手続きを行っており、現在約200件面積約57ヘクタールの貸し借りが行われている。平成27年度から徳島県農業開発公社が行う農地中間管理事業を委託し農地の貸し手と借り手の募集をしている。

梅の販売方針は、神山の梅干しとしてブランド力を高める取り組みとし地域おこし協力隊を中心に梅干しを神山ルビーと銘打ち神山ルビーアワードを開催する等積極的にピーアールを行いブランド力向上に向けた取り組みを考えている。

質問

すだち、ゆこう、ゆず、加工

仕向け品について

加工仕向け品は、JA・加工業者にて数量・単価が制限され余った産物は廃棄されている。平成28年産すだちも基準園の花芽数では豊作予想との事であり、生産者に負担がかかり生産意欲が薄まり減産に繋がる。

農産物主要品目には、価格補償制度があるが、神山町も生産者にとって魅力ある施策の考えはないか、廃棄されている加工仕向け品を含め町長の考えは。

答弁（町長）

町行政として青梅あるいはすだち、ゆこう、ゆずの振興を県・JA・生産者と連携を組みながら振興してきた。重要なポイントは、それぞれの段階が上手く作用し、連携がスムーズにいくシステムでなければ、上手い具合に機能していかない現実がある。

現在のすだち農家の平均年齢は71歳で、いち早く儲かる農業を展開しなければならぬ。後

継者作り、新規就農も達成していかなければならない状況下にある事から地域おこし協力隊、あるいは地方創生の神山の創生戦略の一つにフードハブというのもあり、産業振興を推進して行く考えである。

すだちの加工品については、長年取引量で数量が決められて対前年の農家個人の出荷数から、その年々の受け取りを割り出す形式になっている様だが非常に廃棄される加工すだちが多いという残念な結果になっている。農家に手取りを増やすことが重要な要点から、今年で3年目になるが、東京すだち遍路で東京の個人の店舗に展開しながらB級店を初年度は12店舗、次年度は40店舗に送っている。東京すだち遍路というイベント名にしている関係上88店舗の達成を指示している。

価格補償制度は、重要なポイントになるかと思うが、香酸柑橘については、制度が確立されていないので国県とも検討しながら考えていきたい。あくまでも、すだち、ゆこう、ゆず、については、主要品目でないのが、国費がつけられるのは難点があるかと考えられる。

一般質問



細井成富 副議長

質問①

名西郡農協の支所再編計画（案）を2月中旬に町内で地区説明会が開催された。

農協は農家のみならず、町民と係わりの深い身近な存在であり、地域の経済や文化の中心で、町との関係も多重層的である。

高齢化の進む神山町において、農協支所機能の縮小や廃止は、住民や、特に高齢者にとって益々生活環境が厳しくなる。

町民の生活に多大な影響を与える支所再編計画（案）について事前に説明があったか。

答弁（町長）

J A名西郡と神山町は非常に深

① 名西郡農協の支所再編計画（案）について ② 消費者庁の徳島県移転について

い関係にあり、特に金融面では指定金融機関である。税や、ゴミ袋の販売等色々係わりは深いが、再編計画に関して、残念ながら事前の案内や説明は無かった。

質問

農協から事前に何も説明がなければ、情報が入った時点で、聞くのも一法と思う。

町民の不便解消に町としてどのように対応していくか。ゴミ袋の販売、電柵の販売依頼、税金の振込み等諸々に対して説明を求める。

答弁（住民課長）

ゴミ袋については神領地区では3商店でJ Aの委託で販売。上分、下分、阿川地区でも同様の方法が可能であり、また配達でも対応出来るとのことであ

る。住民が不便のないようJ Aと協議したい。

答弁（産業観光課長）

電柵については、個人が、J Aの指導課で手続きをして頂くか2とおりである。再編後も神山経済部で従来どおり対応できる。

答弁（税務保険課長）

農協再編計画案によると、廃止となった支所を中心に移動金融店舗として定期巡回を実施し、入金業務に加え、本支店の各種取次ぎを行う。

質問②

徳島県が誘致を提案している消費者庁の移転先として県庁で大規模な業務を試行、鳴門合同庁舎では教育研修業務と商品テストを予定。神山町ではテレビ会議システムを使って、機密を

保持し円滑に業務を遂行出来るか試行、その可否が移転の重要なポイントになる。

町民として大変誇りに思える事であり、消費者庁移転に大きな役割を持つ神山町としてどのような対応をしているか。

答弁（町長）

準備については県と常に調整しながらやっている。情報漏洩等セキュリティが一番問題となる。国の機関の地方移転の実証実験であり情報を明示するのは差し控えたい。

質問

国の機関が神山町に来れば知名度も上がり経済的波及効果も期待できるのではないか。積極的に係わり、移転に向けて大いに努力して頂きたい。

一般質問



森本吉治 議員

① 今後の水道料金について ② 町有財産の処分について

質問①

昨今、全国の自治体の中には、古い水道管の交換や維持補修で、経費がかさみ水道料金の値上げが続いているようで、10%、高いところでは30%のところもある。神山町は水道管の交換も順調に進んでいるようだが、急激な人口減にともない、給水人口も減ることにより、一人当たりの負担増が懸念されるが、今後の水道料金について、答弁を求めます。

答弁（建設課長）

水道料金についてであるが、一般家庭の料金ですが、以前はポンプ施設水と、川からの自然流下水で料金が違っていたが、平成23年から水道料金が統一さ

れた。1ヶ月の使用料が10³m³で税抜き基本料金が1500円。メーター使用料が1000円、追加料金が1³m³150円になっている。その後消費税の改正以外料金の値上げはしていない。

平成28年度末に、7箇所の簡易水道と1箇所の飲料水供給施設の統合を予定している。その折に公営企業の経営についても精査し、水道料金の適正化を検討する予定としている。

消費税が上がるなかで、利用者の負担軽減から、料金を据え置いてきたが、28年度より簡易水道の統合、消費税の変更機に料金の改定を検討しなければならぬと考えている。

人口が減少するなか、水道料金も検証し、簡易水道会計が苦しいなか、安心して安全な水道水を供給

し経営努力をしてみたい。

質問②

現在、町有財産の中に処分できずに眠っている物件等があるが、土地などは、そのまま放置すれば雑草などが生い茂り近所迷惑にもなるし、環境美化の面からも、草刈等で経費もかかると思われる。今後休眠物件、不要物件をどの様に処理していくのか。

答弁（総務課長）

人口減少などに伴い、使われなくなった町施設も増えてきている。そのままの状態では保有を続けられ、労力や費用も要するので、土地建物については入札などの方法により売却をしてきた。

例えば、旧持部分校、阿川、左右内教員住宅、上角教職員住

宅、旧役場庁舎跡などがある。

まだ処分できずに、そのままにしている物件は、広野保育所上の住宅跡地、下分、上角の避病舎跡地ぐらいとなっている。今後とも適切な処理、処分を考えていきたい。



旧広野町営住宅

一般質問



相原浩志 議員

質問①

近年四国八十八箇所霊場の歩き遍路さんが非常に多くなっており、十二番札所焼山寺から十三番札所大日寺へのお遍路さんが左右内の庄部を越え阿川本名地区で休憩される地点でもあり民家の便所を借りることが多く、迷惑をかけている。

四国霊場の世界遺産登録も高まっている中、また阿川本名、福原地区の方々も望んでいる公衆便所の設置ができないか、町長の考えは。

答弁（町長）

昨今の歩き遍路ブームの流れのなか、徳島県はもちろん四国は一つということ、四国霊場の歩き遍路の世界文化遺産に登録しようという気運を高めてい

① 四国八十八箇所霊場遍路道への公衆便所設置について ② 有害鳥獣駆除について

る最中である。

ご指摘の本名についても非常に重要なポイントと感じており、今後、歩き遍路の方々はもちろん、観光ということを考えても、トイレは必須の条件となつてまいると考えている。

補助事業がないか、県当局とも協議しながら設置に向けて努力をする。

質問②

最近、サル被害が町内全体に広がっているようで、大型の捕獲器を設置していると聞くが、その現況と、捕獲器にどのような餌、また管理についてどのような方法をとっているか。

答弁（産業観光課長）

大型捕獲器の現況は、徳島県が神山町、徳島市、佐那河内村にまたがって行動しているサルの個体群の調査をしている。

その個体群が徳島市の市街地付近まで移動していることが確認されたことから、県が対策に乗り出している。その個体群を効果的に捕獲するために県の委託を受けて佐那河内神山地域鳥獣害防止広域対策協議会が事業

主体となつて、阿野字白嶽に平成27年12月に大型捕獲器を設置している。餌と管理につきましましては、産業観光課の課員が定期的に、芋、ミカン等で管理をしている。

この方法で捕獲できれば、町内の各地域でも実施をしていきたいと思つている。

質問

捕獲器については、海南の方で個人が作つて何年か経っている。参考までに申し上げると、サルの好物を置いて初回は捕獲できて2回目からは警戒し

て入らないこともあつて、中に芋とか人参等の根菜類を作ると効果があまり、捕獲頭数も多いと聞いている。
個体数を少なくしていくためにも、いろいろな方法を考えていただきたい。



歩き遍路さん

一般質問



高橋和男 議員

質問①

鳥獣害駆除について質問ですが、現在、農作物の被害で、大変困っているのが現状である。町ではどのような対策を考えているのか、答弁を求める。神領野間の方が夜帰る途中に、鹿を20頭も見たそうで、私も夜石堂に友達を送ったの帰りに、5頭の鹿を見た。以前より鹿は増えている気がする。5年ぐらい前までは、雌鹿は捕獲禁止であった。そこで、くくり罠で、夏でも捕獲駆除の許可を出したらどうか答弁を求める。

答弁（産業観光課長）

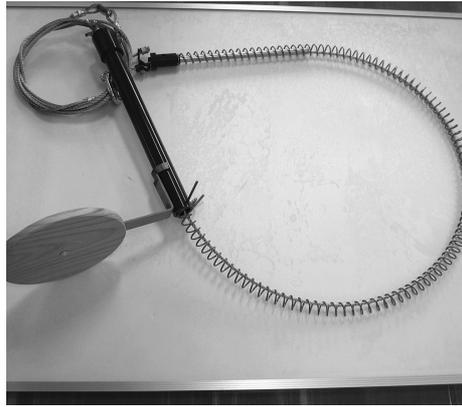
鳥獣が増えているということにより、平成28年度から猿と鹿

① 有害鳥獣駆除について

を効果的に捕獲するため、くくり罠でも捕獲許可を出す予定である。猿と鹿が対象である。



くくり罠の講習会



猟具の一例（くくり罠）

有害鳥獣捕獲実績について

平成26年度（実績）	
報奨金申請者数	16人
イノシシ	76頭
シカ	48頭
サル	37匹
タヌキ	2匹
ハクビシン	6匹
カラス（銃器）	2羽
カラス（ワナ）	8羽
カワウ	18羽
報奨金支払い総額	3,272,000円

平成27年度（実績）	
報奨金申請者数	23人
イノシシ	134頭
シカ	98頭
サル	27匹
タヌキ	16匹
ハクビシン	6匹
カワウ	3羽
報奨金支払い総額	4,484,000円

平成28年 第2回臨時議会

第2回臨時議会は、平成28年2月16日に開催した。提出議案は、条例の改正1件、工事請負契約の締結等2件を審議し、原案どおり承認・可決した。

● 議案第2号（専決）

神山町税条例等の一部を改正する条例の一部改正について

● 議案第3号

神山町学校給食センター建替工事変更請負契約の締結について

● 議案第4号

林道施設災害復旧事業倉羅川井畔線1号箇所工事請負契約の締結について



完成した神山町学校給食センター

議員研修

徳島県町村議会議員研修会

平成27年度後期徳島県町村議会議員研修会が石井町中央公民館に於いて、平成28年3月29日に、神山町、石井町、上勝町、藍住町、板野町、上板町、つるぎ町、東みよし町が対象町村で、議員、議会事務局が参加し開催された。

午前の部は、全国町村議会議長会議事調査部参与、横田優氏の「議会運営の基本」と題して、①議員の権限と義務、②議会が持っている権限、③会議の諸原則、④本会議の運営、⑤委員会について学んだ。結論は、最終的には、その人の常識が全てでないかとのことだった。

午後の部は、新潟県立大学国際地域学科准教授田口一博先生の「議員として活躍するために」と題して、①議会力、②議員力の磨き方について学んだ。議員として有権者に信頼を得

ていくということと、職員に信頼を得るということは、手段も方法も同じではない。議会政治は劇場の見世物という訳にはいかない。有権者の支持だけでなく、支持者ではない住民からも納得や共感を得ることがなければ、公平な執行をしなければならぬ職員からの信頼など到底得ることはできない。

自治体の実態を観察していると、職員が属する執行機関と、議員が属する議会とは融合的であることもあれば、ときには反発的ですからあることもある。また、議員の仕事も執行機関が行うべき情報や政策の入力もあれば執行機関の行った仕事に対する評価、批判まで実に広範である。

何らの制約なく情報発信できる現代だからこそ、きちんと裏付けられ、実証されている情報が重要で、あちこちに紹介されているといっても、本当にうまくいっているのか。その地域の

人たちはどう思っているのか。評価しない人、反対している人の意見は。働いている人は、生き生きと楽しそうか。行ってみればわかるのである。人の気持ちまで一瞬で見取るのが、人との出会いによらなければならぬ「議員力」で、声が出てこないところからも声を聞き、そして表現されていないことを認識可能にする議員が信頼の対象となるであろう。

議会の機能の一つに、行政運営に対する評価・批判がある。代表的なものは、決算・行政監視であるが、決算とは年度が終わってから作成される決算書の審査のことだけではない。むしろ進行中の事業に目を光らせ、行政執行に緊張感を持たせることが大きい。

議員活動の内容を主張することだけから実現へと、一つ一つの物事に誠実にあたり、完璧な結果ではなくとも最善を尽くしたことが認められることで信頼

が生まれていき、そして成果を出す、さらに黙っていても、その想いが実現していくことへと引き上げていき、現実に行政を動かす職員が信頼し、慕ってくれないであればその想いは実現できないであろうと。

この研修会に参加して、新人議員の私だが、理想の議員に近付けるよう住民の皆様方の声を聞き、何にでも耳を傾け町内である問題を一緒に考え、どうするか、どうしたいかの議論が大事であると……。

(河野雅俊)



石井町中央公民館での議員研修会

神山の風景

神山東中学校閉校式

3月24日(木)午後2時より3月に卒業した生徒、在校生、地元住民、旧職員、卒業生、多くの人々が出席し、思い出深い校舎とお別れをした。昭和45年6学級208名で広野中学校から神山東中学校と校名変更し発足、1477名の卒業生を送りだしたが、少子化の影響から46年の歴史に幕を下ろすことになった。広野中学校からの卒業生は3505人である。記念誌「飛翔」〜至誠を胸に〜と記念のDVDが出席者に配られた。閉校時の在校生は18名だった。



卒業生と在校生が一緒になって校歌斉唱中

議会の動き

- 4月 7日 勝名地区町村監査委員
連絡協議会臨時総会
- 14日 勝名地区町村議会
議長会臨時総会
- 18日 議会広報委員会
- 5月 18日 勝名地区監査委員
連絡協議会視察研修
員連絡協議会
- 30日・31日 第41回議長・副
議長研修会
- 6月 中旬〜下旬 6月定例会



学校給食センター落成式でのテープカット

編集後記

神山町の春のイベント、阿川梅の里梅まつり・菜の花まつり・桜まつりが催され、桜街道・ツツジ・シヤクナゲと花の町として名を馳せている。又、県下俳句大会・人形浄瑠璃定期公演・神山温泉まつりと文化の町としても年々観光客が増えている。各運営団体の皆様には敬意を表します。

3月定例会は、第17期議員初の議会となり平成27年度各補正予算、28年度各予算について議論された。その他本年度計画の子育て世代中心の集合住宅、(株)フードハブプロジェクト施行の為、一般社団法人「神山つなぐ公社」+課長級戦略会議「神山町つなぐ会議」設立の提案が可決された。又、定例会中、中学校卒業式、神山町学校給食センター落成式があり議会は終了した。

議会だよりの編集も新メンバーとなった。町民の皆様への情報として、議会がより身近な存在となれるよう発信に努めてまいりたい。(中西富士男)